

授業実践例 第1学年 生活科

1 単元名 「たのしいあき、いっぱい」

2 本時のねらい

○ 公園で拾った落ち葉や実、木の枝などの特徴を生かしながら、自分の作りたいものを自分なりに工夫して作ることができる。

3 活動の流れ

学習内容	時間 (分)	分担	○ 教師の支援 ※ 評価
1 童里夢公園の秋をみつけよう。 あきのたからものをつかって、まつぼっくりツリーやどんぐりストラップを作ろう。	10	担任 G・T	○ 今までの学習を振り返らせ、本時のねらいを確認する。 ○ 落ち葉や木の実を拾って、作品作りに使うことを伝える。 ○ G・Tを紹介する。 ○ 観察や作品作りのねらいについて説明する。
2 G・Tの案内で童里夢公園を散策し、落ち葉や木の実を集める。	15	G・T 担任	○ G・Tの案内により、公園内を歩きながら、樹木や草の観察を行う。 ○ 木々の色づきや落ち葉、木の実などが落ちていることから、秋になったことに気づかせる。 ※ あきのたからものを見つけ、集めることができたか。
3 拾った落ち葉や木の実、G・Tが準備した木の実や枝を使って、松ぼっくりツリーやどんぐりストラップ作りをする。	45	担任 G・T G・T 担任 担任 担任	○ あらかじめ決めておいたグループに分かれて作業することを確認する。 ○ 制作するのに必要な材料や、用具が置いてある場所を知らせるとともに、スムーズに進められるよう活動場所と安全面での注意事項を確認する。 ○ 松ぼっくりツリーとどんぐりストラップの作り方の説明をする。 ○ 集めた落ち葉や木の実を使って工夫して作るようアドバイスする。 ○ 思うように進まない児童には、参考作品を提示し、具体的にイメージできるよう個別に支援する。 ※ 松ぼっくりツリーやどんぐりストラップを工夫して作ることができたか。
4 作った作品を紹介し合う。	10	担任	○ 作品を作る際に工夫した点について、グループの中で発表させる。また、友だちの作品のよい点について称賛できるよう声をかける。
5 後片付けをし、本時のまとめをする。	10	担任 G・T	○ 使った場所や用具を協力して片づけるよう声をかける。 ○ あきのたからものを見つけ、それらを使って作品作りを通して、自然への関心を高めるとともに、秋を体感する喜びに気づかせる。

